



～ 農作業中の熱中症に注意しましょう ～

農林水産省が公表した「平成 30 年に発生した農作業死亡事故の概要」において、「熱中症」によるものは 43 人に上り、同区分で調査を開始した平成 16 年以降、最多の死亡者数となりました。

過去 10 年間の農作業中の熱中症による死亡事故をみると、その 8 割以上が 7～8 月に集中しており、最も熱中症リスクの高い時期になります。

農業従事者の中には、熱中症の具体的な症状が分からず、自ら認識しないうちに熱中症にかかっている方が多くいます。熱中症を未然に防ぐために、下記の対策を重点的に行ないましょう。

1 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう

70代以上の方は、のどの渇きや気温の上昇を感じづらくなるので、高温時の作業は極力避けましょう。

2 作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょう

のどが渇いていなくても、20分おきに休憩し、毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給をしましょう。足がつったり、筋肉がピクピクする症状がみられたら、0.1～0.2%程度の食塩水、スポーツ飲料、塩分補給用タブレットを摂取しましょう。



※市販品を摂取する際は、必ず成分表示をチェックし、適切な量を摂取してください。

休憩時は、日陰等の涼しい場所で休憩し、作業着を脱ぎ、手足を露出して体温を下げましょう。

3 熱中症予防グッズを活用しましょう

屋外では、帽子、吸汗速乾性素材の衣服、屋内では送風機やスポットクーラーなどを活用しましょう。

4 単独作業を避けましょう

作業は2人以上で行うか、時間を決めて水分・塩分補給の声掛けを行うなど、定期的に異常がないか確認し合うようにしましょう。

5 高温多湿の環境を避けましょう

暑さ指数(WBGT)計、温度計、湿度計で作業環境を確認しましょう。

作業場所には、日よけを設けるなどできるだけ日陰で作業をするようにしましょう。

特にビニールハウス等の施設内は風通しが悪く、早い時期、早い時間から暑さ指数が高くなるため、風通しを良くしたり、断熱材を活用しましょう。



◆問い合わせ先◆ 飯田市農業課生産振興係 Tel: 0265-21-3217

熱中症を予防して元気な夏を！



☆ 鳥害防止用爆音機等による騒音防止について ☆

スズメやカラスなどによる農作物被害防止のために使用される爆音機や音声機器について例年、周辺住民の方から騒音苦情が寄せられています。

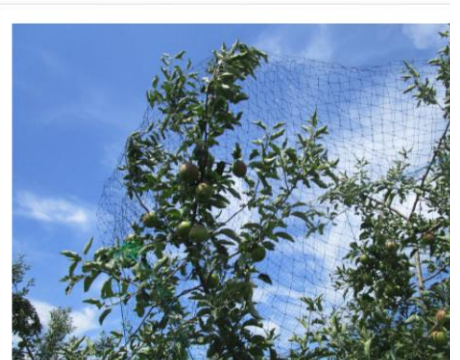
農作物の収穫の確保と快適な住環境の維持の両立に向け、次の事項についてのご協力をお願いします。



1. 設置について、事前に周辺住民の方に知らせるなど周辺環境に十分配慮して使用することを心がけてください。
2. 住居から直線距離にして200m未満の位置では、爆音機などを使用しないでください。なお、住居から200m以上離れた位置に設置する場合でも、使用期間を収穫期など必要最小限の時期に限定した使用に留めてください。また、地形や周辺環境を考慮のうえ、筒先を住宅地に向けないように配慮してください。
3. 早朝及び夜間は、爆音機などの使用を控えてください。なお、使用時間は原則として、日の出から日没までとし、近隣に住居のある場合には、睡眠の妨げとならないよう、朝の早い時間帯の使用を自粛してください。
4. 爆音機などに代わる防鳥網やテグスなどを積極的に使用してください。

問い合わせ先：飯田市農業課生産振興係

TEL：0265-21-3217



玉ねぎセット球栽培の種球仕上げ指導会を開催！

7月3日に種球仕上げ会を開催し、栽培者20名の出席がありました。灌水し栽培しているセット種球が、100円玉サイズになったら、球あげし、日陰で風通しのよい場所で、8月末頃の定植まで保管します。

手順や時期の説明を聞いてから、各自が持ち寄ったセット球について、生育状況に合わせたアドバイスを、農産物加工研究会員からもらいました。

ほとんどの方が、初めての栽培方法であり、栽培・管理方法について質問も数多くあり、熱心に指導会ができました。

8月下旬には、圃場での定植説明会を予定しています。

